



## 日本台湾学会

### 第十二回学術大会のご案内



日本台湾学会第十二回学術大会を下記の要領で開催いたします。

今大会の記念講演には、司法院大法官、司法院院長を長年にわたってつとめられ、憲法解釈を通じて台湾の民主化を促進してこられた翁岳生氏をお迎えします。また、エクスカーションとして、北海道大学付属図書館所蔵の旧植民地関係資料の見学も予定しております。

どうぞふるってご参加ください。

---

## □ 大会概要

- 日時： 2010年5月29日（土） 10:00～（9:30受付開始）  
プログラムの詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- 場所： 北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟  
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目  
会場へのアクセスは、[こちら](#)（PDFファイル，196KB）をご覧ください。 ※別ウィンドウで開きます
- 共催： 財団法人交流協会  
グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」（北海道大学）
- 参加費： 1,000円

---

## □ スケジュール

受付開始 9:30

場所：人文・社会科学総合教育研究棟2階 ロビー

|      |             |                           |
|------|-------------|---------------------------|
| 分科会  | 10:00-11:50 | 会場：人文・社会科学総合教育研究棟         |
| 昼休み  | 11:50-13:20 | エクスカージョン：北海道大学図書館旧植民地関係蔵書 |
| 分科会  | 13:30-15:20 | 会場：人文・社会科学総合教育研究棟         |
| 記念講演 | 15:30-17:00 | 会場：人文・社会科学総合教育研究棟2階 W203  |
| 会員総会 | 17:05-17:40 | 会場：人文・社会科学総合教育研究棟2階 W203  |
| 懇親会  | 18:00-20:00 | 会場：ファカルティハウス エンレイソウ       |

## □ 分科会プログラム

|                     | 分科会企画 |    |     |    |    |    |     | 自由論題 |     |     |    |       |
|---------------------|-------|----|-----|----|----|----|-----|------|-----|-----|----|-------|
|                     | I     | II | III | IV | V  | VI | VII | 1    | 2   | 3   | 4  | 5     |
|                     | 文化    | 歴史 | 歴史  | 国際 | 教育 | 文学 | 経済  | 歴史   | 文学1 | 文学2 | 政治 | 経済・社会 |
| 午前の部<br>10:00-11:50 | ○     | ○  |     | ○  | ○  |    | ○   | ○    | ○   |     |    |       |
| 午後の部<br>13:30-15:20 | ○     |    | ○   |    |    | ○  |     |      |     | ○   | ○  | ○     |

(会場は当日ご確認ください)

## 分科会企画

I. 分科会 「台湾を語るための「日本」—「日本」という記憶、「日本」という装置」(午前・午後)

企画責任者： 林初梅・莊佳穎 (台湾師範大学)

座長： 松永正義 (一橋大学)

[午前の部]

報告者：

松永正義

「戦後台湾における日本語と日本イメージ」

莊佳穎

「台湾政治文化における「かわいい」の運用と動員力」

(台湾師範大学)

(報告：中国語、質疑応答：日本語通訳有、論文：日本語)

コメンテーター：

松金公正 (宇都宮大学)、川島真 (東京大学)

[午後の部]

報告者：

林初梅

「校史室と集合的記憶—台湾における植民地記憶の再編成」

津田勤子

「僕たちの中学時代、今を生きるための過去—台北四中卒業生を例に」

(台湾師範大学大学院)

コメンテーター：

栗原純 (東京女子大学)、植野弘子 (東洋大学)

## II. 分科会 「台湾総督府地方長官・内海忠司からみた植民地支配」 (午前)

企画責任者： 近藤正己 (近畿大学)

座長： 近藤正己

報告者：

近藤正己 「高雄軍港化における地域と軍」

駒込武 「在台日本人ネットワークのなかの内海忠司」

(京都大学)

蔡慧玉 「在台植民地官僚の日々—内海忠司の日記を読む」

(中央研究院)

北村嘉恵 「内海忠司日記を通じて見る台湾総督府地方長官の活動と人的つながり」

(北海道大学)

コメンテーター：

波形昭一 (独協大学)、岡本真希子 (成功大学)

## III. 分科会 「札幌農学校・北海道帝国大学と植民地台湾」 (会場校企画) (午後)

企画責任者： 北村嘉恵 (北海道大学)

座長： 鈴木賢 (北海道大学)・北村嘉恵

報告者：

飯島渉 「動植物の交換をめぐる帝国秩序」

(青山学院大学)

藤原辰史 「磯永吉と蓬莱米」

(東京大学)

コメンテーター：

逸見勝亮 (北海道大学)

## IV. 分科会 「台湾対外関係史研究の新展開」 (午前)

企画責任者： 松田康博 (東京大学)

座長： 小笠原欣幸 (東京外国語大学)

報告者：

清水麗 「1960年代中華民国の対日関係強化の模索—「反共」と宣伝戦」

(桐蔭横浜大学)

松田康博 「中台関係 (1958-1965) — 「大陸反攻」対「応戦と統一戦線工作」」

コメンテーター：

青山瑠妙 (早稲田大学)、石川誠人 (立教大学)

## V. 分科会 「台湾高等教育改革の今日的位相—課題と日本への示唆—」 (午前)

企画責任者： 山崎直也 (国際教養大学)

座長： 所澤潤（群馬大学）  
報告者：  
山崎直也 「馬英九政権の高等教育政策と中台関係」  
蘇佩怡 「台湾における高等教育の国際化とその課題」  
（早稲田大学大学院）  
コメンテーター：  
菅野敦志（早稲田大学）、日暮トモ子（有明教育芸術短期大学）

#### VI. 分科会「推理小説と台湾の異文化接触」（午後）

企画責任者： 高嘉励（中興大学）  
座長： 朱恵足（中興大学）  
報告者：  
高嘉励 「日影丈吉の推理小説に見られる植民地台湾の異文化交流」  
（報告：日本語、質疑応答：日本語通訳有）  
陳国偉 「国境を越えた知の翻訳：戦後台湾の推理小説における探偵の「身体」の形成」  
（中興大学）（報告：日本語、質疑応答：日本語通訳有）  
コメンテーター：  
吉田司雄（工学院大学）、押野武志（北海道大学）

#### VII. 分科会「台湾における企業間関係とイノベーション」（午前）

企画責任者： 川上桃子（アジア経済研究所）  
座長： 沼崎一郎（東北大学）  
報告者：  
謝翊宇 「中小企業のイノベーションの社会的条件：台湾自転車産業のケーススタディ」  
(Michelle Hsieh) ("The social conditions of innovations among small and medium enterprises: a case study of the Taiwanese bicycle industry")  
（中央研究院）（報告：英語、質疑応答：日本語通訳有）  
川上桃子 「台湾企業による新市場の創出：ネットブック事業の事例」  
コメンテーター：  
伊藤信悟（みずほ総合研究所）、中原裕美子（九州産業大学）

## 自由論題

### 1. 自由論題・歴史学（午前）

座長： 洪郁如（一橋大学）  
報告者：

莊雅仲 「台湾を研究する—戒嚴令解除後の台湾における「本土」学院政治」  
(交通大学) (「研究台湾—解嚴後台灣的『本土』学院政治」)  
陳淑容 (報告：中国語、質疑応答：適宜日本語訳。日本語要旨有)  
(台湾大学博士後研究員)  
泉水英計 「フロンティア—ジョージ・H・カーの台湾史と琉球史を結ぶもの」  
(神奈川大学)  
コメンテーター：  
何義麟 (台北教育大学)、藤波潔 (沖縄国際大学)

## 2. 自由論題・文学 (午前)

座長： 河原功 (東京大学・非常勤講師)

報告者：

豊田周子 「日本統治期台湾知識人の民衆理解—『台湾民間文学集』故事編を例とし  
(関西学院大学・非常勤講師) て」  
常勤講師)

王姿ブン 「「心象風景」の再構成—梶井基次郎の影響をめぐって」  
(あめかんむりの下に「文」)  
(東京大学大学院)

コメンテーター：

陳培豊 (中央研究院)、大東和重(近畿大学)

## 3. 自由論題・文学 (午後)

座長： 山口守 (日本大学)

報告者：

川原絵梨奈 「外省人作家の文学観とその変遷—雑誌『三三集刊』(1977-81年)の朱天心  
(広島大学大学院) を素材として」

呂淳鈺 「可愛的仇人—台湾における大東亜ディスクールと恋愛小説(1937-1945)」  
(Washington University in St. Louis) (「可愛的仇人: 大東亜論述下台灣的愛情小説(1937-1945)」)  
(報告：日本語、質疑応答：英語／中国語)

コメンテーター：

韓燕麗 (関西学院大学)、下村作次郎 (天理大学)

## 4. 自由論題・政治学 (午後)

座長： 前田直樹 (広島大学)

報告者：

藍適齊 「『植民地人』の戦争責任と戦争犯罪史—台湾人の戦犯に関する研究 1945-  
(Nanyang Technological University／東京大学) 1955」 (「被殖民者的審判：第二次世界大戦中的台湾戦犯, 1945—1955  
／Trial of the Colonized: the Taiwanese War Criminals from the Second World War, 1945-1955」)  
(報告：英語、質疑応答：英語・中国語。適宜通訳有。日本語要旨有)

白佐立 「建造物の記憶はだれのものなのか？—台湾・台北における中正紀念堂の建設経緯とその使用をめぐって—」  
(東京大学大学院)

コメンテーター：

和田英穂 (尚綱大学)、三尾裕子 (東京外国語大学)

#### 5. 自由論題・社会学／経済学 (午後)

座長： 朝元照雄 (九州産業大学)

報告者：

田畠真弓 (東華大学) 「台湾ハイテク企業の技術学習と関係調整能力—TBIF理論から見た内的発展メカニズム」

曾耀鋒 (東海大学[台湾]) 「戦前の台湾における生命保険契約者の実態について」

林冠汝 (真理大学) 「近年の台湾証券市場の自由化と改革」

コメンテーター：

佐藤幸人 (アジア経済研究所)、伊東和久 (県立広島大学)

---

## □ 記念講演

日時： 5月29日 (土) 15:30-17:00

場所： 人文・社会科学総合教育研究棟2階 W203

講演： 翁岳生 (元台湾司法院長、台湾大学名誉教授、政治大学兼任教授)  
「司法院大法官會議の憲法解釈と台湾の民主政治、法治主義の発展」

司会： 鈴木賢 (北海道大学)

通訳： 林成蔚 (北海道大学)

---

## □ 第十二回大会実行委員会

鈴木賢 (実行委員長) 北村嘉恵 (副実行委員長) 川島真 坂口一成 林成蔚

---

日本台湾学会ホーム